

宇治市

保幼小連携



宇治っこの「育ち」と「学び」をつなげます

Point!!

「子ども」をまんやかに、
就学前施設と小学校が対話を通してつながり合
いながら、1人ひとりの子どもが安心して成長
していけるように支える取組です。

子どもたちが環境の変化に戸惑うことなく、
就学前施設で培った力を発揮し、安心して学校
生活を始めるためには、幼児期の育ちや遊びを
通した学びの芽生えと小学校での学びが円滑に
つながることがとても大切です。



1

架け橋ブロックによる 連携・交流事業

小学校の生活科の授業・学校行事等
による園児と小学生の交流や、授業参
観・保育参観等による先生同士の交流
などを通して、めざす子ども像を共有
しながら顔の見える関係づくりに努め
ていきます。



2

架け橋期のカリキュラム 作成・実践・改善

子どもの育ちを大切にしながら幼児期
から小学校への学びの連続性を意識し、
子どもが安心して主体的に学んでいける
よう連携・協働していくものです。

3

保育要録・指導要録の 有効活用に向けた取組

有効に活用することで育ちの連続性を
大切にしたい支援につなげていきます。

宇治市乳幼児教育・保育支援センター



@NYUYOJL_CENTER

保幼小連携の 気になる疑問を解決



ぜひご覧ください！

「保幼小連携担当になったから、もっと知りたい！」という方へ、よくある質問や楽しんで取り組むためのヒントを紹介します。

Q 架け橋期ってなに？

A 5歳児(年長児)～小学校1年生までの2年間のことを「架け橋期」といいます。

文部科学省が推進しており、遊びを通じた学びから小学校での体系的な学習へのスムーズな接続を図り、すべての子どもの可能性を引き出すことを目的としています。



Q 架け橋ブロック会議に必要なものはなんだろう？

A レジユメをご活用ください。

参加者や話し合った内容等を書きこめるようなものがあると共有しやすくなります。



Q 他の架け橋ブロックはどんな取組をしているんだろう？

A 取組例をご参考ください。

無理なく自分たちのブロックでできる取組を見つけてみてください。



Q 保幼小連携について詳しく知りたい。

A 保幼小連携についての参考資料を掲載しています。



宇治市の保幼小連携は、
「子どもをまんやかに」、
子どもの育ちと学びを支える連携を大切にしていきます。